



令和6年6月17日

盛岡市議会議長 様

紹介議員

住所 〒

岩手県盛岡市

氏名 政策立案有志市民会 安部茂樹

連絡先



法令等遵守違反が疑わしい保健所長発言の事実確認等の請願

(請願趣旨)

「盛岡市町内連合会広報」令和6年2月号 (No.112) において、福祉厚生講演会 (令和5年11月22日開催) の講演内容が記載されています。

当該講演会の講師は、盛岡市保健所長である矢野亮佑氏であり、演題は「5類移行後の新型コロナウイルス感染症～ウィズコロナ時代をどう生きるか～」です。

矢野氏は当該講演で「ワクチンの効果と安全性」について、「ワクチン接種により、当初は発症者を95%減らすことができました」「現在は続く変異等により感染予防効果は当初ほど期待しにくくなっているものの、重症化予防には有効です」「特有の副反応として、一部の若い人に心膜炎・心筋炎を起こすことがありますが、その他重篤な副反応は確認されていません」と発言しています。発言内容はワクチン添付文書及び岩手県内の実態 (ワクチン接種前後の感染者数の推移、重症者数の推移)、予防接種健康被害救済制度における死亡認定者数が過去最高を更新し続けている新型コロナワクチンの健康被害実態に照らした場合、事実とは言えません。

上記発言が実際なされていた場合、保健所長及び盛岡市町内連合会は、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 (以下、薬機法と言う)」第66条 (誇大広告等) 第1・2項に違反する可能性が否定できないと考えます。

本来、薬機法違反を取り締まる立場の保健所長が公然と違反していたとすれば、個人責任を超え、薬事行政の責任者として、行政の信頼失墜を招く行為と考えます。

一方で、発言していない内容を盛岡市町内連合会が記述し、流布した場合、保健所長として、特例承認ワクチンの効果と安全性に対して、事実と異なる認識を市民に与えかねない以上、取り締まるべき事案として看過できないものと考えます。

よって、盛岡市の公衆衛生行政について重責を担う保健所長発言の事実確認等について以下の通り請願します。

(請願事項)

- 1 保健所長が記事記載の発言をしたのかどうかの事実確認
- 2 実際に発言していた場合、どのデータに基づいて「当初は発症者を95%減らすことができました」「重症化予防効果には有効です」と発言したかの確認
- 3 特例承認薬への当該発言が法令等遵守違反となりうる認識があるかの確認
- 4 保健所長として、法令等遵守違反の場合の責任の所在と処遇の確認

No. 112

令和6年
2月号

◆特集◆

市町連
新年交賀会

年3回：7月・11月・2月発行

発行・編集

盛岡市町内会連合会

盛岡市若園町2-2

(盛岡市総合福祉センター)

TEL 623-4690

FAX 623-4699

印刷/杜陵高速印刷株式会社

市町連

MORIOKA

盛岡市町内会連合会広報

令和6年 新年交賀会

令和6年新年交賀会が、盛岡市長はじめご来賓の方々と町内会長合わせて127名のご出席をいただき、1月18日(木)ホテルメトロポリタン盛岡において開催されました。

当日は、教育振興部会主管による特別講演会「南極から見た地球の未来・地域の未来」を併せて開催しました。

また、新年交賀会に先立ち、能登半島地震で亡くなられた方々のご冥福を祈り、黙とうを捧げました。



来賓ご祝辞(要旨)

【盛岡市長 内館 茂 様】

年が明けた1日、能登地方で最大震度7を記録する大きな地震が発生しました。すでに本市から職員の派遣を開始しておりますが、今後も全国市長会等と連携して、継続的に支援を行ってまいります。

盛岡市町内会連合会の皆様におかれましては、新たな気持ちで新年をお迎えのことと存じます。明るく住みよいまちづくりにご尽力いただき、心から感謝を申し上げます。

市長に就任して以降、市政運営の柱に市民との対話を位置付けて多くの方々から直接お話を伺ってまいりました。

盛岡市町内会連合会様との座談会では、町内会の抱える課題や市の将来像などについて御意見をいただく中に、私に対する期待の大きさも感じたところです。盛岡の魅力さをさらに磨き上げ、市民が誇りを持てるまちづくりに取り組むとともに、「より優しく、より強い盛岡」の実現に全力を尽くしてまいります。



【盛岡市議会議長 遠藤 政幸 様】

能登地方での大地震により、亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

日頃より盛岡市のまちづくりにご尽力をいただいております皆様にも、心から感謝を申し上げます。

昨年、ニューヨーク・タイムズ紙において「行くべき52カ所」に選ばれ、盛岡市が大いに注目されました。これもひとえに、「住み良いまち盛岡」の実現のため町内会の皆様方と行政が連携を深め、協働のまちづくりに取り組んでこられた賜であります。

町内会など地域を取り巻く環境は大きく変化しており、課題が多様化・複雑化してきております。市議会におきましても、地域の皆様方の声をお聞きしながら、皆様と一緒に住み良い地域社会の実現に向けて、今後とも力を尽くしてまいります。



【盛岡市社会福祉協議会会長 佐藤 光彦 様】

能登半島地震で犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

日頃より、地域福祉の推進に力を尽くされている町内会役員の皆様にも心より敬意を表する次第です。

地域社会においては、少子高齢化の進行とともにさまざまな地域生活課題が複合化・複雑化・深刻化しております。このような中であって、地域づくりの牽引役となってお尽力いただいております皆様方に改めてお礼を申し上げます。

市社会福祉協議会では、第二期地域福祉活動計画に掲げております「人と人とのつながり 共に支え合うまちづくり」の実現のため、地域住民の皆様と手を取り合い、積極的に地域福祉活動を推進してまいりますので、今後ともより良い地域づくりのため一層のお力添えをお願いいたします。



年頭のごあいさつ

会長 小枝指 好夫

まずもって、この度の令和6年能登半島地震により犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災地域の日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行し、私たちは徐々に日常を取り戻しつつあります。当連合会におきましても定期総会、表彰式、講演会などの主要な事業はほぼ計画どおり開催することができました。

本年7月に当連合会は創立60周年の節目の年を迎えます。現在、記念事業実行委員会が中心となり準備を進めておりますが、皆様におかれましては事業の成功に向けて、より一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

少子高齢化・価値観の多様化など町内会・自治会は難しい時代を迎えておりますが、今こそ町内会・自治会活動の価値を再認識し、未来志向の活動へ転換するチャンスと捉えることもできるのではないのでしょうか。

当連合会といたしましては、盛岡市をはじめ関係機関・団体の皆様と価値観を共有しながら、市勢の発展に寄与してまいりたいと存じております。皆様にはよろしくご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年(2月)

研修会シリーズ

厚生講演会

11月22日、総合福祉センター講堂において福祉厚生講演会を開催しました。当日は約110名が参加し、熱心に聴講されました。

講演前に日本でも新型コロナウイルス感染が確認されてから、私たちは想像もしないようなさまざまな困難を経験してまいりましたが、この講演を通じてウィズコロナと呼ばれる時代に私たちはどのように日常生活を過ごすべきかを改めて確認することができました。

(福祉厚生部会長 泉澤 力)

5類移行後の新型コロナウイルス感染症 ～ウィズコロナ時代をどう生きるか～

講師：盛岡市保健所長 矢野 亮佑 氏

★新型コロナウイルス感染症が2類から5類になったのはなぜか

感染症法の分類が2類から5類になったのは「注意しなくても普通の生活を送れるようになったから」ではなく「注意すれば普通の生活を送れるようになったから」です。

※2類は「結核」など、5類は季節性インフルエンザやウイルス性(B・C型)肝炎などです。

★日本が行ってきた積極的疫学調査

疫学調査には「後ろ向きの調査」⇒感染者はどこで誰からうつされたかの調査と、「前向きの調査」⇒感染者はどこで誰にうつしたかの調査があります。ほとんどの国が「前向きの調査」しか行いませんでしたが、日本は両方の調査に力を入れてきました。その結果、空気感染が起きやすいのは「密閉空間」、「密集場所」、「密接場面」、「三密」であることをつぎとめました。

※「三密」は日本が世界に発信したエビデンス(科学的根拠・知見)です。

★新型コロナウイルスの特徴

- 初期症状は鼻水・のどの痛みなど感冒に似ています。
- 潜伏期間に幅があり、無症状から感染性があること、また、軽症・無症状患者が多いため、全例を追うことは不可能であることが対策を難しくしました。
- 当初は致死率が比較的高かったものの、ワクチン接種の普及、医療体制や治療法確立、診断例の増加(検査数の増加)で致死率は下がってきています。
- ※60歳未満の重症化率は、季節性インフルエンザとほぼ同じですが、60歳以上の重症化率は、新型コロナウイルスが季節性インフルエンザの約3倍となっています。

・後遺症の発症頻度が高いにもかかわらず、残念ながら特効薬はなく対症療法が現状です。

★ワクチンの効果と安全性

ワクチン接種により、当初は発症者を95%減らすことができました。現在は続く変異等により感染予防効果は当初ほど期待しにくくなっているものの、重症化予防には有効です。

特有の副反応として、一部の若い人に心膜炎・心筋炎を起こすことがありますが、その他重篤な副反応は確認

されていません。一方で接種部位の痛みや発熱など比較的軽微な副反応は、一般的なワクチンより多いです。アナフィラキシーショック(強いアレルギー症状)の発生頻度は10～20万人に1人となっており、従来のワクチンより頻度は高いですが稀です。

※一般的なワクチンのアナフィラキシーショックの発生頻度は100万人に1人

★新型コロナウイルス感染症による二次的健康被害

接触機会や社会活動が少ないと貧困やフレイル等による死亡リスクが増加し、逆に接触機会や社会活動が多いと新型コロナウイルスによる死亡リスクが増加します。生活のバランスをとることが大切です。

★感染症が成立するための3要素と予防

感染症が成立する3要素とは、①何(病原体)が、②どのようにして(感染経路)、③誰に感染しやすいか・誰にとって危険か(感受性宿主)ということです。

予防策としては

- 病原体(やっつける、除去する)⇒手洗い、手指消毒
- 感染経路(遮断する)⇒マスク、手洗い、手指消毒、三密(ワイワイガヤガヤ)回避
- 感受性宿主(抵抗力を高める)⇒ワクチン接種、基礎疾患コントロール

★感染防止の5つの基本

- ①体調不安や症状がある場合は、無理せず自宅で療養あるいは受診をする。
- ②その場にに応じたマスクの着用や咳エチケットの実施
- ③換気、密集・密接・密閉(三密)の回避は引き続き有効
- ④手洗いは日常の生活習慣に
- ⑤適度な運動、食事などの生活習慣で健やかな暮らしを

★強がり過ぎず、恐れ過ぎず

新型コロナウイルス感染症も、季節性インフルエンザも、感染性胃腸炎も、感染対策の基本は共通です。「強がり過ぎず、恐れ過ぎず」



令和6年度 まちづくり懇談会を開催します

市との共催による「まちづくり懇談会」が開催されます。市と地域とが市政についての問題意識を共有し、盛岡市の将来像について市長と直接対話できる貴重な機会です。懇談会のテーマは今後各地域から提案されますが、地域の皆様には積極的な参加をお願いします。

No.	開催地区	会場	開催日時	No.	開催地区	会場	開催日時
1	土 淵	土淵地区活動センター	5月24日(金)18:30	6	北 野 川	北野川老人福祉センター	8月6日(火)14:00
2	青 山	青山地区活動センター	7月4日(木)18:00	7	松 園	松園地区活動センター	8月9日(金)14:00
3	築 川	築川老人福祉センター	7月5日(金)18:00	8	洪 民	洪民公民館	8月20日(火)18:00
4	桜 城	桜城老人福祉センター	7月12日(金)14:00	9	大 慈 寺	大慈寺児童センター	8月27日(火)18:30
5	巻 堀 姫 神	巻堀地区コミュニティセンター	7月24日(水)18:30	10	上 田	上田公民館	8月29日(木)14:00
				11	西 野 川	西野川老人福祉センター	9月2日(月)14:00
				12	緑 が 丘	緑が丘地区活動センター	9月3日(火)18:30
				13	仁 王	仁王老人福祉センター	10月24日(木)18:00
				14	つ な ぎ	つなぎ地区活動センター	10月30日(木)18:30
				15	み た け	みたけ地区活動センター	11月21日(木)18:00